

馬×旅のフリーマガジン

TAKE  
FREE

# 馬旅

うまたび

お知らせ（購読無料）

引退競走馬の

セカンドキャリア促進を

目的としたシンポジウム

最新情報

AIエッジカメラによる

厩舎管理へ「alpa」

牧場の仕事ロードマップ

By BOKUJOB&日本乗馬普及協会

馬術部OB・OGを訪ねて

全日本学生馬術連盟

アメリカで乗馬施設を経営する日本人女性

みづらのThat's録

フランス・スペインへの馬旅行  
YURIE KONO

表紙／馬のイラストレーター

おがわじゅり

馬に乗ると旅はもっと楽しくなる





# AIエッジカメラによる 厩舎管理 aiba

## Ver.2 登場

厩舎で馬の異状をリアルタイムに検知するAIプロダクト「aiba」インタビュー。今回は株式会社アブリズムの開発チームの皆さんに新たなバージョンであるVer.2についてお話を伺いました。

夜間  
★  
★  
近赤外線カメラで  
暗闇でもよく見える

### 現場の声をもとに 進化した映像とアプリ

Ver.2での大きな変化のひとつは映像機能の強化。現場で働く人々は日頃から接している馬の表情からさまざまな情報を感じ取ることができます。Ver.1のサーモカメラ映像では馬の表情や状態を把握するのが難しいとの声があり、対応を検討していました。

を採用していたのは「夜間でも馬の姿をしっかりと捉えるため」で、Ver.2では暗闇でも表情の見える近赤外線カメラに変更しました。日中はカラー映像でより鮮明に映る映像に進化しています。

て粘り強く開発を進めています。使いやすいや安心感を提供するために、プロジェクトメンバー全員で何度もブレインストーミングを重ねました。

もうひとつはより直感的で使いやすいアプリへの改善です。アプリ開発担当者はこのプロジェクトに関わるまで、馬を生で見る機会がほとんどありませんでした。そのため厩舎での仕事や馬の管理に関する現場の意見を非常に重視して開発を進めました。現場の忙しい日常業務

に支障をきたさないように、スマホ機能を強化して使いやすく幅広いユーザーに対応できるアプリを目指して開発を進めました。今後も更なるバージョンアップも検討していますが、「バージョンアップしたら使いにくくなってしまった」なんてことにならないように、ユーザーからの生の声を反映しながら使いやすさを向上させていきたいと考えています。

さらなる使いやすさ向上へ

開発は「こだわりだすと終わりがありません。正解というものはなく、ユーザーのメリットを追求していきながら想いをもつ

現場からさまざまな改善点やリクエストをいただきました。そういったお声をaibaに反映させたことで実際に「Ver.1より



もVetの方が使いやすいやそう」という声をいただいています。eSOSでは今後も、ユーザーからのお声をいただきながら段階的なバージョンアップを予定しています。

また、異状検知のA-部分についてはVetから移植されているものですが、次のバージョンではA-のアップグレードを予定しています。これはソフトウェアのアップデートなので、ユーザーも追加費用なく新しい機能を利用できるように考えています。

### A-技術だけではない、eSOSの未来像

牧場や乗馬クラブとしては常に見られているというブレッツシャーがないわけではありませんが、むしろeSOSを導入して「愛馬を見守ることができるといふ付加価値を他の馬主にも提供し、スタッフだけで逐一見守るのではなく「みんなで馬を守っていく」という未来も描いています。

また、アニマルウェルフェアの観点からも、eSOSは「苦痛、傷害及び疾病からの自由」という5つの自由のひとつに貢献しています。馬の異状を早期に発見し、迅速に対応することで、苦痛の時間を減らし治療の成功率を高めることができます。

当社はA-を中心にプロダクトを展開していますが、A-技術以外のところでも「しっかり馬を見守る」という機能を充実させています。例えば、Vetinでは馬ごとにコメントを残せる機能を追加しました。「馬がい

昼間

日中はカラー映像でより鮮明に



つ疝痛を起こしたのか」「どのような食事をしたのか」といった情報を記録していき、他の担当者も履歴を確認することで「昨日、食事を残していたけど大丈夫かな」といったように、局所的な情報で体調が悪いかどうかかわりにくい場合にも、日々の観察によって体調不良の早期発見に繋がっていただけます。

当初はコメントの項目をあらかじめ設定する案もありましたが、あえて自由に書けるようにしています。eSOSは牧場の活用も視野にいれ、もし体重（競

走馬の場合、体重管理をする）が重要視されているようなら「体重という項目をつくって、入力するとグラフ化できて推移がわかるようにしよう」というように、入力データを分析した結果をアップデートに繋がっていただきたいと考えています。

乗馬クラブや牧場など馬を預かる業界で安心して使っていただけのサービスを目指し、馬主が「この施設はeSOSを導入しているから安心して預けられる」と思ってもらえるような信頼関係を築きたいと考えています。